

<白金標準、リスクを織り込み、テクニカルの好転買い・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領は、イランのエネルギー施設やインフラ施設への攻撃開始の 27 日を 10 日間延長し、米国東部時間 4 月 6 日 AM8 : 00 としている。しかしイランとの協議で譲歩を見せないイランに対する威嚇の空爆を、米国とイスラエル軍は核関連施設や製鉄所に空爆を実施している。そのためイランも湾岸諸国に対してドローンや弾道ミサイルで攻撃を行っており、市場は出口が見えない長期戦を織り込む動きを示し、株価や債券は売られ、金価格は逆に買われだすなど、楽観的な見方が悲観的な見方へと変化しており、リスク逃避の買いが勝っている。特に白金標準先物は、景気商品であり株価の動きが軟調であればその動きに比例した値動きを見せている。しかし 2 月 28 日の戦争勃発から既に 3505 円の下落を示しており、十分にリスクを織り込む値動きを見せている。特にその表れとして NY 市場では 1800 ドルで抵抗を見せ、白金標準先物も 9000 円で下げ渋る動きを続けている。

そのため一時 8478 円まで下値を試し、戦争リスクが高まっている中でも週末は 9357 円で推移するなど、下げ渋っている。またオシレーターは峠を越えて巻き戻しの予兆を見せるなど、テクニカルの好転を機に 10000 円へ回帰する値動きに思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り下げながら、**シグナル**も切り下げている。RCI では**短期**が切り上げ、**長期**も下げている。特に日足が平滑移動平均線のレンジに戻り、10000 円へ向けた戻りが期待されると思える。

レポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 10,230,000 円(2026 年 3 月 30 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 105,600 円(2026 年 3 月 30 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>